

カムカムはっぴい

八甲田ロープウェイ 山頂に方向盤製作

去年の十二月に、電話がありました。「八甲田山のロープウェイ駅にモニユメントを建てたい。」

早速お話を伺ってみると、山で行方不明になった方の遺族が、登山者の安全に何か役立つものを残したいとのこと。場所は八甲田ロープウェイの山頂公園駅で、周囲の風景を説明する方向盤にすることとなりました。

さて、設計をしていくうちに、これはなかなか簡単ではないとわかってきました。まず現場に石を運ぶのに、①クレーンが使えないのでロープウェイに乗せて運ばなければなりません。②気象条件が厳しい。冬は低い気温と強風で凍結や風雪の影響を受けます。③国立公園の中なので環境に配慮しつつ、観光地としての魅力を引き立たせるデザインが求められる。

発行元 石銘地番(株)
青森市堤町1-3-16
TEL 017-775-1483
FAX 017-723-5756
フリーダイヤル
0120-75-1483

そこで、運べる石のサイズと重さの制限の中で、耐久性のある設計が必要でした。そのために各地の方向盤を調べ、当社の今までの記念碑の実績などを見直してみました。

それから何度もデザインを提出し、関係者の方々と半年に亘った折衝の末に製作の最終案が決定したのはお盆を過ぎていました。

設計の方針は、長期間にわたって安定した構造であることをめざし、石の素材と組み合わせ方を工夫し、上下の石でしっかりと中央部分をおさえる形とし、石材は強度の高い素材を使用しました。彫刻部分と台座は黒御影石を使い彫刻を引き立たせます。黒と白のツートンカラーで、八甲田の周囲の景観と調和しつつ存在感を出しました。正面に「八甲田ロープウェイ山頂公園駅」と大きく刻みしました。八甲田ロープウェイ様から環境省への工事申請を出し



ていただき、承認を受けて作業開始。モニユメントは岩木山が正面に見えるように設置。八甲



田の山の上なので、基礎工事も設置工事もロープウェイで資材を運び、すべて人力という大仕事。五十年くらい前の私が生まれたころに、石屋がよくやってきたスタイルで、台車に石を積み込み、みんなで息を合わせて石を引きずり出し持ち上げるといった感じでした。当日は青森市の初雪の日でした。山頂駅は寒さに凍えてしまう状態で、思わず雪中行軍の映画を思い出しました。社員の一人は寒さで手ががじがじかみ、感覚がなく、手が石に挟まってしまったことに気づかなかったそうです。作業を進めていくうちに風も強くなり、一時はロープウェイの運行が休止になるところで、下山



が危ぶまれましたが無事に設置は完了。作業も終えホッとしながら山を下りるロープウェイから外を見ると、青森トドマツの林に、この

時期しか見られないという霧水がしっかりとできていました。厳しい仕事でしたが、製作と設置にがんばってくれたメンバーをあらためて見直しています。

八甲田山を訪れる観光客や登山者の楽しい写真スポットだったり、よい案内役になってくれればいいなと思います。このような機会をくださった施主様と八甲田ロープウェイ様はじめ関係各位の方々に深く感謝いたします。

(番地常夫)

青森太鼓組

みなさま「北の太鼓衆」をご存知でしょうか？年末に開かれるアマチュア太鼓グループによる太鼓の競演会です。



競演会 北の太鼓衆

第八回となる今年の「北の太鼓衆」は実行委員会のメンバーでもある「玉松太鼓保存会」の十周年を記念し、玉松太鼓と親交のある、今別町「大川平荒馬保存会」の皆様が伝統芸能を披露していただきます。そして、平成二十二年十二月四日、青森県民の悲願であった東北新幹線全線開業の日を迎えます。開業記念として、東京都三宅島の伝統芸能として継承されている「三宅島神着神輿太鼓」の皆さんを新幹線でお呼びします。

青森県では勿論初めて「三宅太鼓」を披露してもらうこととなりました。

「北の太鼓衆」は、和太鼓を通じ、個々の技術の向上や、世代を超えた他チームとの交流を通じて生まれた連帯を深めるとともに、健全な精神と身体を育み、太鼓特有の響きを共鳴する喜びを、より多くの皆様と分かち合いたいと考えております。

【開催概要】

◎テーマ

東北新幹線全線開業記念
財団法人青森県学術文化
振興財団助成事業
玉松太鼓十周年記念
『第八回 北の太鼓衆
あおもり』

◎とき

平成二十二年十二月十九日(日)
午後一時開演
(開場 午後十二時半)

◎ところ

青森市 アウガ五階

AV多機能ホール

◎入場料 無料

◎主催

北の太鼓衆実行委員会
事務局

青森市筒井一―九―一三 六号
〇一七―七四―一〇八三六

◎出演団体

青森市	銀杏太鼓・青森太鼓組・和海太鼓
蓬田村	玉松太鼓保存会
青森市	津軽遊座楽
黒石市	沖中太鼓
今別町	千徳なかよし児童館和太鼓クラブ
東京都	大川平荒馬保存会 三宅島芸能同志会 (客演)

企業展に出展

去る十月九日(土)・十日(日)問屋町はまなす会館において、「企業展」(青森県中小企業家同友会主催)が開催されました。

当社も「ヒマラヤ岩塩」を持って出展いたしました。大自然の中で形成されて、後世に史実を伝える石を扱っています。岩塩も、長い時間を掛けて自然が作ってくれた体にやさしいお塩です。



きました。ミネラルをたくさん含んでいるため塩分量が少なくても旨みが増し、素材の美味しさが一段と引き立ちます。ぜひ一度お試しくださいませ。



当日は、いわなの炭焼きに岩塩を使用してもらい、ご来場の皆様にご好評をいただきました。

二日間のご来場者数八百名余り。ありがとうございます。異業種企業四十社が「住」「食」「サービス」「健康」「環境」について、各社ごとに取り組み、アットホームな楽しい展示会でした。十二月には待望の新幹線が開業します。

「元気な青森」発見!発信! いままで、これからも、地域に生きる皆様のお役にたてる会社をめざします。

青森中小企業家同友会ホームページアドレスはこちら

<http://www.aamoridoyu.jp/>

スタッフじゅりこのほのぼの育児日誌

八月の終わりに息子が高熱を出しました。三十八度以上の熱は出したことがなかった。こんな体温は初めて見たぞと驚きました。『☆スター』を何個持つてるの?というくらいにはば無敵状態だった息子も遂にです。

病院嫌いなので家で三十八度台の熱が病院に着くまで大泣きして三十九度台まで。あがり、もちろん先生の前でも暴れまくる始末。よつぼど泣くから看護士さんに覚えられてるみたい(汗)

病院も大変でしたが、子供が初めての高熱なら親も初めての看病。熱は四十度まで上がり、熱に負けてクターとしてる息子を見ては代わってあげたい気持ちでいっぱいでした。

熱は二、三日して平熱まで下がり、もしかして突発性発疹?という疑惑もなんのその。発疹が出なかった。今夏風邪だったようです。今は寒くなってきたので鼻たれ小僧になっています。

お墓の雪囲い

今年もお墓の雪囲いの時期がやって参りました。別紙にて詳しく説明してありますのでご覧になってみてください。申込み締め切りは十一月三十日迄です。お早めに☆

ホームページをリニューアルしました

新アドレスはこちら
<http://banchineiseki.com/>

新サイトでは社員によるブログを始めました。お客様との会話で得たことや、日常で起こった出来事などを週1回のペースで更新しております。コメントなども受け付けておりますので、是非ご覧になってみてください♪

編集後記

今年はや早い雪でしたね。十一月三日に方向盤の除幕式があります。景色を眺めに行ってみませんか?
(じゅりこ)